2022年3月5日 障害者放送協議会シンポジウム

参加者アンケート　まとめ

回答数　62

方法　シンポジウム終了後、参加者に、（１）ウェブフォームを提示、（２）ワード版アンケートをメール送付する形で記載を呼びかける。

質問１　あなたがテレビなどの動画を視聴するときに、情報保障として必要なものを、よろしければお聞かせください。（複数回答可）

字幕 32

音声解説 14

手話通訳 14

特になし 21

その他の回答 2（テロップ、音声）

質問２　ニュースや娯楽などの情報を得るために、主に使うものはどれですか。（複数回答可）

テレビ 50

インターネット 56

ラジオ 16

新聞 30

その他の回答 9（メールマガジン、スマホ(2)、点字資料、電子データの新聞、印刷物(2)など）

質問３　テレビなどの動画を視聴するときに、情報が得られず困った経験があれば教えてください（自由記述）

字幕がない　9件（特に、緊急時、地方番組、ニュース、政見放送、国会中継、お笑い）

音声解説がない　7件（特に、緊急ニュース速報、テロップなどの画面内文字）

字幕が遅れる、そのため途切れる　4件

主な記述（抜粋）

・緊急災害時・地元ローカルニュースや話題などに字幕がないのに困っています。

・生放送には字幕ないことが多く、あっても音声より遅く、途中で切れてしまうことが多い。

・ろう重複者がテレビを見てわかりやすい環境を整備する必要がある。

・字幕にルビを付けることが出来ないか?

・番組データの検索が面倒

・字幕スーパーだけのことはよくあり、困っています。

・最近のドラマは、ラインやインターネット書き込みのシーンも多く、重要な部分がわからずすすんでしまいます。

・外国人インタビューでは、字幕か吹き替えかがどちらかのことも多く、吹き替えも必ずつけていただきたいと思います。

・天気予報の降水確率や選挙での立候補者名を「ご覧の通りです」と言うだけで音声解説が無くて困りました。

・解説放送で、不要な解説がついて煩わしい場合もある。

質問４　誰もが視聴できる放送の実現に向けて、今後求めたいことや、必要だと思うことは何ですか。（自由記述）

字幕の遅れを解消してほしい 6件

解説放送を増やしてほしい　5件

手話をオンオフできるようにしてほしい　4件

格差を解消してほしい（デジタルディバイド、地域間格差）4件

手話放送を増やしてほしい　3件

字幕の文字サイズを変更できるようにしてほしい　3件

今後の技術開発に期待（ハード、ソフト）3件

法規上の義務、権限強化が必要　2件

予算増、補助金増が必要　2件

主な記述（抜粋）

・視聴者の意見を収集する機会を多くしてそれを反映する仕組みが必要と思います。

・多くの当事者、関係団体、放送・通信事業者関係者の声を集めて、放送・通信のアクセシビリティの確保の世論を作ることが大切だ。

・各視聴者の希望が叶えられる仕組み。字幕の文字の大きさの変更、手話の小画面の表示有無など。

・個々に必要な情報保障の手段を、自分で選択できるように、システムの開発や予算の充実など出来る限りの努力をしてほしいです。

・インターネット再配信でも字幕、解説、手話を望む。

・何時何処でも同時に字幕を楽しみるように地域格差の是正が望まれる。

・字幕と解説は漢字や難しい言葉がわからない人にもわかりやすいものである必要があると思います。

・情報弱者や機械操作の苦手な人へのPR、情報提供

・特別な費用負担や設備投資や手続きなしで、誰もが放送を享受できるようにして欲しい。

・機器の操作が誰にもできるように簡単なものも用意しておく必要がある。

・放送に限らずネット活用の方法が広がりそうですが、スマホやＰＣだけでなく、従来のテレビ受像機スタイルでも視聴できる環境を願いたいです。

・開発される技術に対応した具体的な仕組みの構築と運用促進に取り組んでほしい

・字幕は聴覚障害者だけでなく、小さなお子さんを抱えているお母さんにとっても、発達障害者の方にとっても、聴覚に異常がなくても言葉がわかりにくい聴覚情報処理障害のある人にとってもメリットがあり、より多くの人々に放送を見てもらうためにも期待しています。

・本日の発表で、ユニバーサルな放送実現に向けて、皆さんががんばっておられることを知り、嬉しく思いました。誰もが安心して暮らしていくために必要だということが多くの人々に認識されることが大切だと思いました。

質問５　最後に、本シンポジウムや、障害者放送協議会の活動について、ご意見、ご要望などがあればお書きください（自由記述）

新たな情報を得た、学びの機会となった　13件

今後も啓発と情報発信を期待する　8件

同様のシンポジウムをまた開催してほしい　5件

韓国の制度が参考になった　5件

主な記述（抜粋）

・盲ろう者への取り組みも知りたかった。

・発達障害、読み書き障害、知的障害の話も聞きたかった。現在は技術的に難しい部分も多いと思いますが（ふりがな、やさしい日本語、ピクトグラム、再生速度変更、フォント変更など）。

・当事者のお話が大切だと思いました。

・放送事業者だけでできることではなく、様々分野の人々の働きを集結していかないとできないことがよくわかりました。そういったところも含めて、また内容を整理して、こういったシンポジウムをまた開催していただければ、ありがたいです。